

## 平成30年度第3回市政モニターアンケート結果

### テーマ「農業施策と地産地消の推進」について

#### アンケート実施概要

- (1) 対象 市政モニター 118人
- (2) 回答者数 112人
- (3) 実施期間 平成30年11月22日(木)から12月6日(木)まで
- (4) 目的 相模原市では、地域農業の振興を図るため、農業まつりや市民朝市の開催など地産地消の推進や、市民農園の開設、直売所整備の促進などに取り組んでまいりました。

このアンケートは、地産地消や農業へのふれあいによる地域農業のさらなる振興を図るために、また、都市農業振興基本法に基づく地方計画の策定に向けた基礎資料として活用するために実施させていただきました。

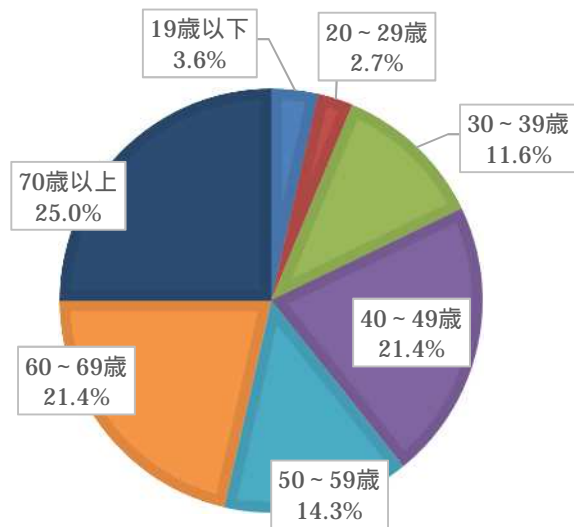
表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

【基本的項目についてお伺いします】

【問1】 あなたの年齢をお伺いします。（回答は1つ）

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70歳以上
2	20～29歳	5	50～59歳		
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
1	4	3.6%
2	3	2.7%
3	13	11.6%
4	24	21.4%
5	16	14.3%
6	24	21.4%
7	28	25.0%
合計	112	100.0%



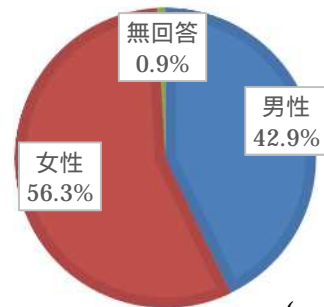
回答された方の年齢層は以上のとおりです。

(n=112)

【問2】 あなたの性別をお伺いします。（回答は1つ）

1	男性	2	女性
---	----	---	----

選択肢	回答数	回答分布
1	48	42.9%
2	63	56.3%
無回答	1	0.9%
合計	112	100.0%



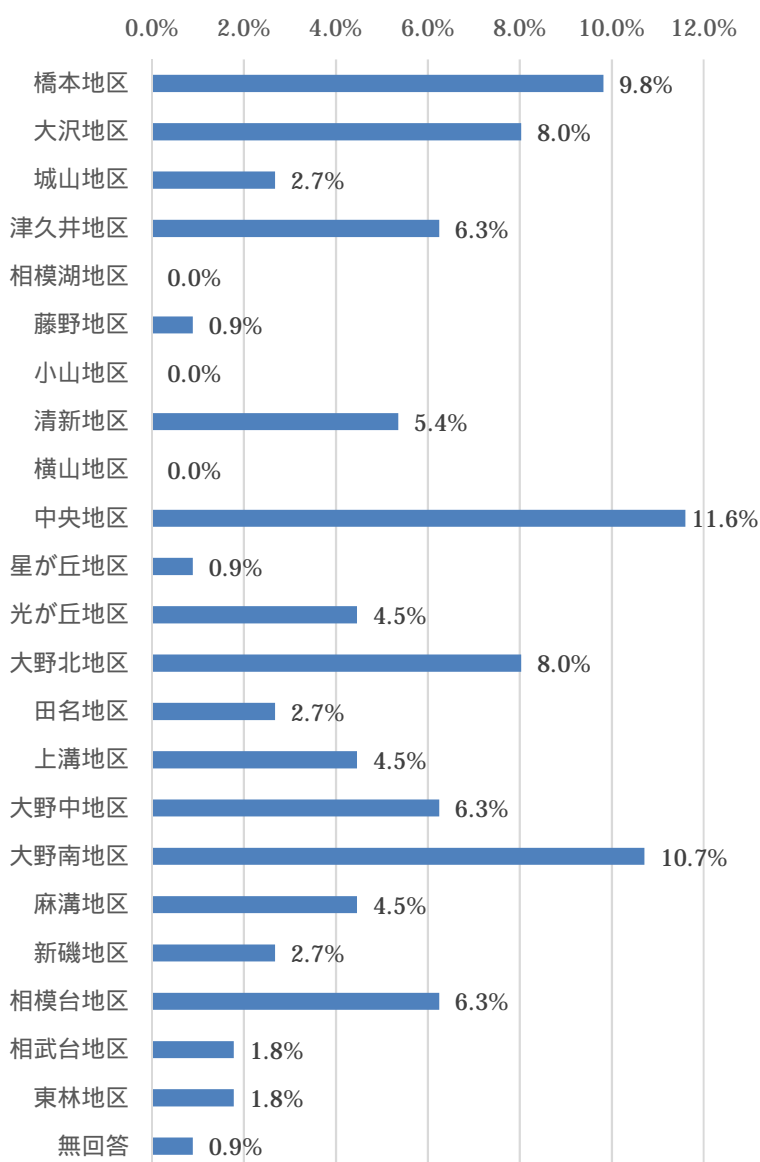
回答された方の性別は以上のとおりです。

(n=112)

【問3】 あなたのお住まいの地区をお伺いします。（回答は1つ）

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
1	11	9.8%
2	9	8.0%
3	3	2.7%
4	7	6.3%
5	0	0.0%
6	1	0.9%
7	0	0.0%
8	6	5.4%
9	0	0.0%
10	13	11.6%
11	1	0.9%
12	5	4.5%
13	9	8.0%
14	3	2.7%
15	5	4.5%
16	7	6.3%
17	12	10.7%
18	5	4.5%
19	3	2.7%
20	7	6.3%
21	2	1.8%
22	2	1.8%
無回答	1	0.9%
合計	112	100.0%



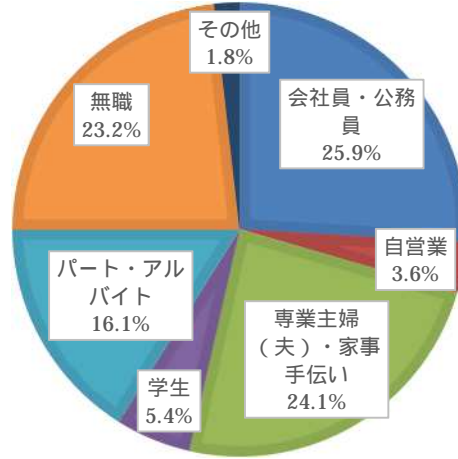
(n=112)

回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

【問4】 あなたの職業をお伺いします。（回答は1つ）

- |                 |             |       |
|-----------------|-------------|-------|
| 1 会社員・公務員       | 4 学生        | 7 その他 |
| 2 自営業           | 5 パート・アルバイト |       |
| 3 専業主婦（夫）・家事手伝い | 6 無職        |       |

選択肢	回答数	回答分布
1	29	25.9%
2	4	3.6%
3	27	24.1%
4	6	5.4%
5	18	16.1%
6	26	23.2%
7	2	1.8%
合計	112	100.0%



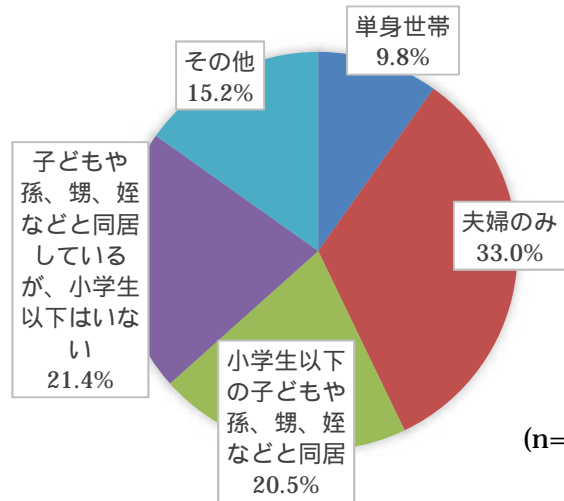
(n=112)

回答された方の職業は以上のとおりです。

【問5】 あなたの世帯状況をお伺いします。（回答は1つ）

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1 単身世帯                         | ) |
| 2 夫婦のみ                         |   |
| 3 小学生以下の子どもや孫、甥、姪など同居          |   |
| 4 子どもや孫、甥、姪など同居しているが、小学生以下はいない |   |
| 5 その他                          |   |

選択肢	回答数	回答分布
1	11	9.8%
2	37	33.0%
3	23	20.5%
4	24	21.4%
5	17	15.2%
合計	112	100.0%



(n=112)

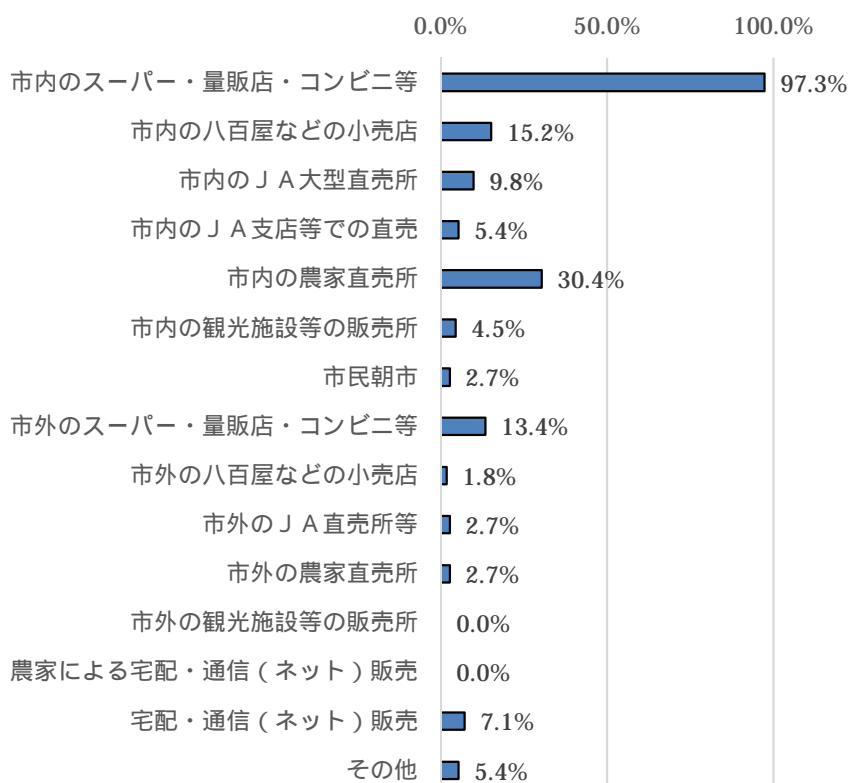
回答された方の世帯状況は以上のとおりです。



【問7】 あなたは、野菜などの農産物を主にどこで購入しますか。（回答は3つまで）

- 1 市内のスーパー・量販店・コンビニ等
- 2 市内の八百屋などの小売店
- 3 市内のJA大型直売所（「ベジたべーな」「あぐりんずつくい」など）
- 4 市内のJA支店等での直売
- 5 市内の農家直売所（有人・無人を問わず）
- 6 市内の観光施設等の販売所
- 7 市民朝市
- 8 市外のスーパー・量販店・コンビニ等
- 9 市外の八百屋などの小売店
- 10 市外のJA直売所等
- 11 市外の農家直売所（有人・無人を問わず）
- 12 市外の観光施設等の販売所
- 13 農家による宅配・通信（ネット）販売
- 14 宅配・通信（ネット）販売（農家による宅配・通信（ネット）販売を除く）
- 15 その他（ ）

選択肢	回答数	回答分布
1	109	97.3%
2	17	15.2%
3	11	9.8%
4	6	5.4%
5	34	30.4%
6	5	4.5%
7	3	2.7%
8	15	13.4%
9	2	1.8%
10	3	2.7%
11	3	2.7%
12	0	0.0%
13	0	0.0%
14	8	7.1%
15	6	5.4%



(n=112)

農産物の主な購入先の上位3項目は、「市内のスーパー・量販店・コンビニ等」が97.3%で最も多く、次いで「市内の農家直売所」が30.4%、「市内の八百屋などの小売店」が15.2%という結果となりました。

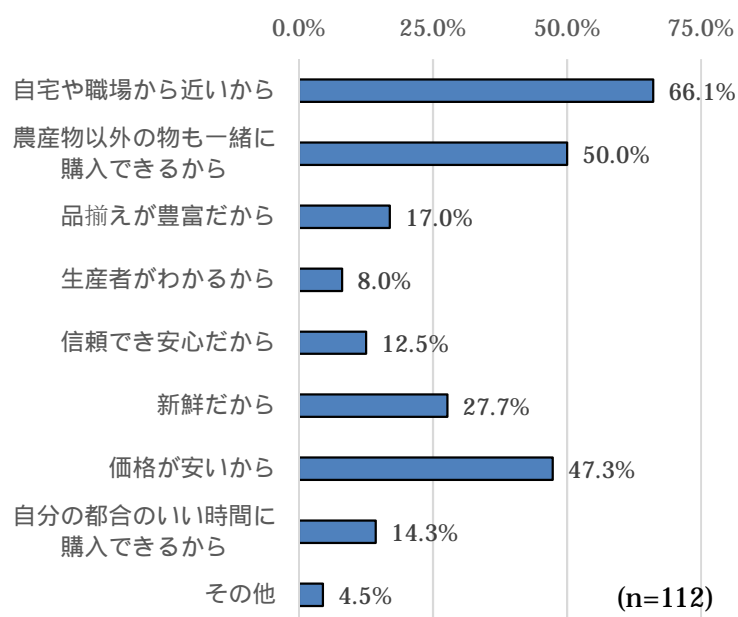
その他記入欄意見 抜粋

○購入していない。

【問 8】 あなたが問 7 で選んだ購入先を利用する理由は何ですか。（回答は 3 つまで）

- 1 自宅や職場から近いから
- 2 農産物以外の物と一緒に購入できるから
- 3 品揃えが豊富だから
- 4 生産者がわかるから
- 5 信頼でき安心だから
- 6 新鮮だから
- 7 価格が安いから
- 8 自分の都合のいい時間に購入できるから
- 9 その他（ ）

選択肢	回答数	回答分布
1	74	66.1%
2	56	50.0%
3	19	17.0%
4	9	8.0%
5	14	12.5%
6	31	27.7%
7	53	47.3%
8	16	14.3%
9	5	4.5%



問 7 で選んだ購入先を利用する理由の上位 3 項目は、「自宅や職場から近いから」が 66.1%で最も多く、次いで「農産物以外の物と一緒に購入できるから」が 50.0%、「価格が安いから」が 47.3%という結果となりました。

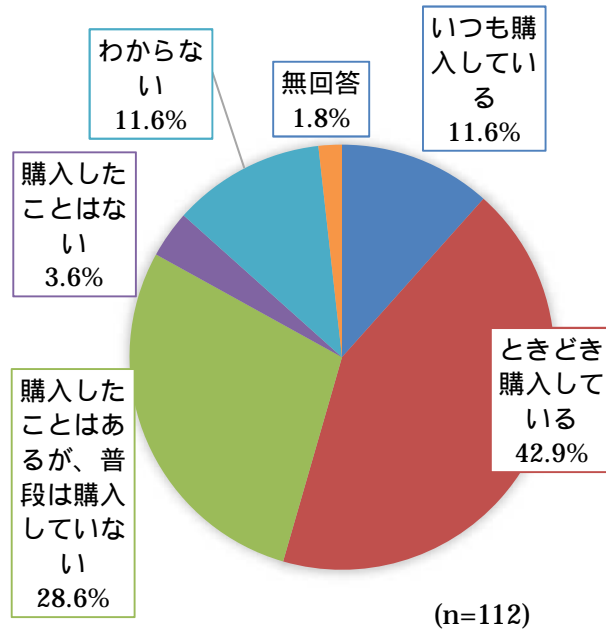
その他記入欄意見 抜粋

- 自宅で受けとれるから。
- 購入しない。
- 外出の手間が省ける。
- 宅配（coop）なので届けてもらえる。

【問9】 あなたは、日頃、市内産の農産物を購入していますか。(回答は1つ)

- 1 いつも購入している
- 2 ときどき購入している
- 3 購入したことはあるが、普段は購入していない (問10へ)
- 4 購入したことはない (問10へ)
- 5 わからない (問10へ)

選択肢	回答数	回答分布
1	13	11.6%
2	48	42.9%
3	32	28.6%
4	4	3.6%
5	13	11.6%
無回答	2	1.8%
合計	112	100.0%



市内産の農産物の購入について、「いつも購入している」(11.6%)と、「ときどき購入している」(42.9%)を合わせた普段から「購入している」人は、54.5%という結果となりました。

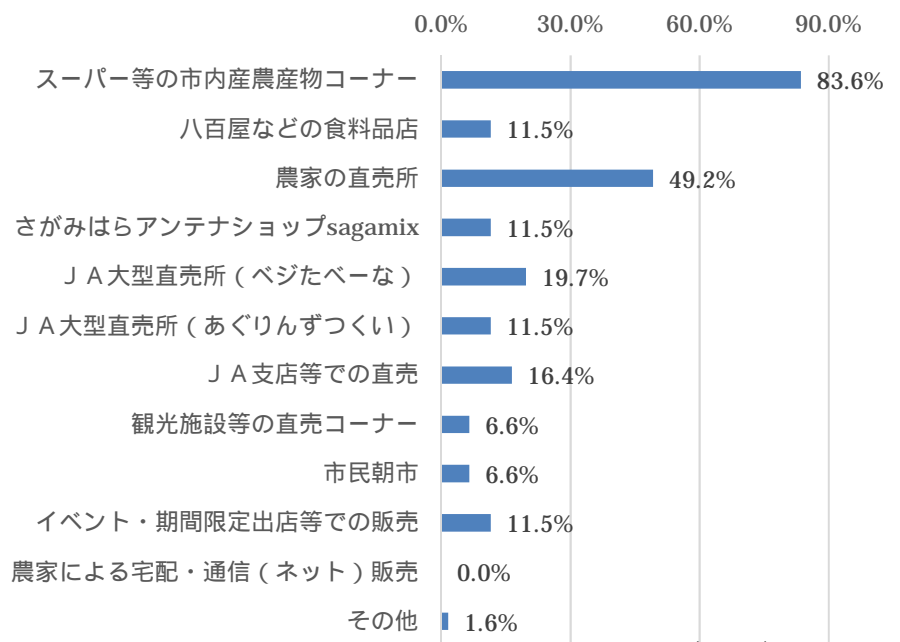


《【問9】で、「1 いつも購入している」「2 ときどき購入している」とお答えの方へ》

【問9 - 1】 あなたは、市内産の農産物をどこで購入しますか。(回答はいくつでも)

- 1 スーパー等の市内産農産物コーナー
- 2 八百屋などの食料品店
- 3 農家の直売所(有人・無人を問わず)
- 4 さがみはらアンテナショップ sagamix(さがみっくす)
- 5 JA大型直売所(ベジたべーな)
- 6 JA大型直売所(あぐりんずつくい)
- 7 JA支店等での直売
- 8 観光施設等の直売コーナー
- 9 市民朝市
- 10 イベント・期間限定出店等での販売
- 11 農家による宅配・通信(ネット)販売
- 12 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	51	83.6%
2	7	11.5%
3	30	49.2%
4	7	11.5%
5	12	19.7%
6	7	11.5%
7	10	16.4%
8	4	6.6%
9	4	6.6%
10	7	11.5%
11	0	0.0%
12	1	1.6%



(n=61)

市内産農産物の購入先の上位3項目は、「スーパー等市内農産物コーナー」が83.6%で最も多く、次いで「農家の直売所」が49.2%、「JA大型直売所(ベジたべーな)」が19.7%という結果となりました。

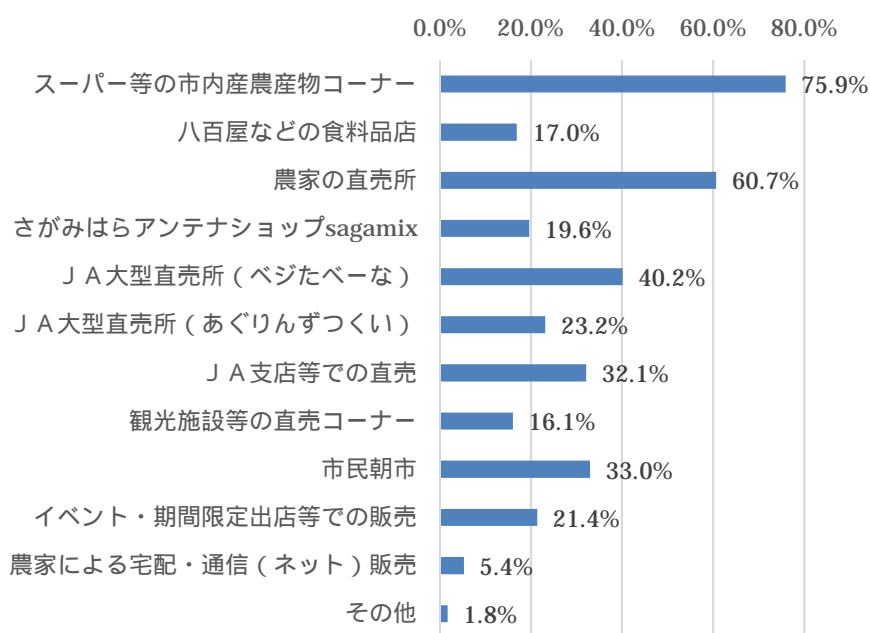
その他記入欄意見 抜粋

○畑を借りているので自作自食。畑の大家さんから。

【問10】 次の市内産農産物の販売場所のうち、あなたをご存知のものはどれですか。  
(回答はいくつでも)

- |    |                               |
|----|-------------------------------|
| 1  | スーパー等の市内産農産物コーナー              |
| 2  | 八百屋などの食料品店                    |
| 3  | 農家の直売所(有人・無人を問わず)             |
| 4  | さがみはらアンテナショップ sagamix(さがみっくす) |
| 5  | JA大型直売所(ベジたべーな)               |
| 6  | JA大型直売所(あぐりんずつくい)             |
| 7  | JA支店等での直売                     |
| 8  | 観光施設等の直売コーナー                  |
| 9  | 市民朝市                          |
| 10 | イベント・期間限定出店等での販売              |
| 11 | 農家による宅配・通信(ネット)販売             |
| 12 | その他( )                        |

選択肢	回答数	回答分布
1	85	75.9%
2	19	17.0%
3	68	60.7%
4	22	19.6%
5	45	40.2%
6	26	23.2%
7	36	32.1%
8	18	16.1%
9	37	33.0%
10	24	21.4%
11	6	5.4%
12	2	1.8%



(n=112)

市内産農産物の販売場所の認知度上位3項目は、「スーパー等市内農産物コーナー」が75.9%で最も多く、次いで「農家の直売所」が60.7%、「JA大型直売所(ベジたべーな)」が40.2%という結果となりました。

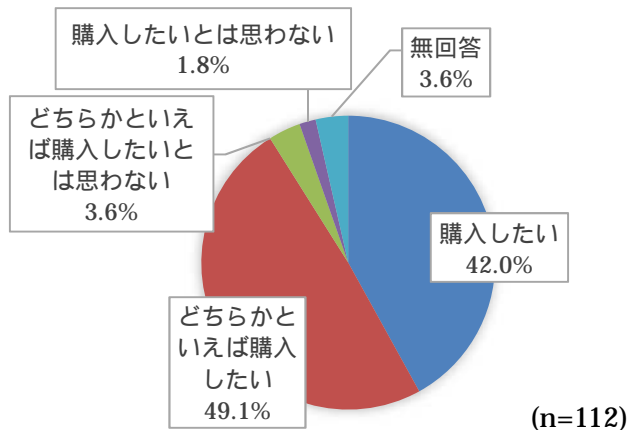
その他記入欄意見 抜粋

- 近くに地産の直売所がない。
- 協同病院正面玄関での販売。

【問 1 1】 あなたは、市内産農産物を購入したいと思いますか。(回答は1つ)

- 1 購入したい
- 2 どちらかといえば購入したい
- 3 どちらかといえば購入したいとは思わない
- 4 購入したいとは思わない

選択肢	回答数	回答分布
1	47	42.0%
2	55	49.1%
3	4	3.6%
4	2	1.8%
無回答	4	3.6%
合計	112	100.0%



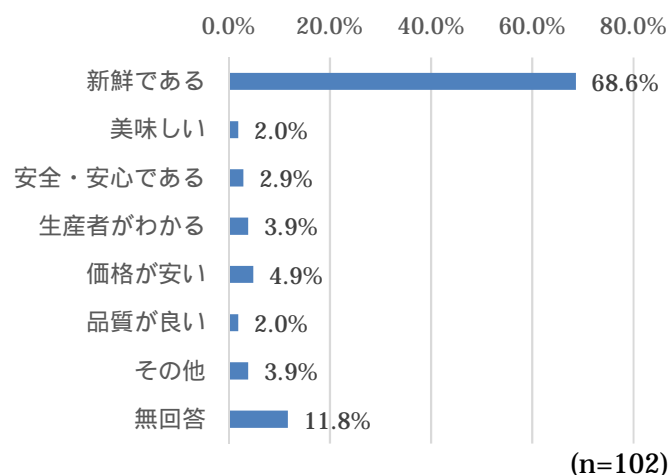
市内産農産物の購入意向は、「購入したい」(42.0%)と「どちらかといえば購入したい」(49.1%)とを合わせた9割超(91.1%)という結果となりました。

《【問 1 1】で、「1 購入したい」「2 どちらかといえば購入したい」とお答えの方へ》

【問 1 1 - 1】 あなたが、市内産農産物を購入したいと思う理由は何ですか。(回答は1つ)

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 新鮮である    | 5 価格が安い  |
| 2 美味しい     | 6 品質が良い  |
| 3 安全・安心である | 7 その他( ) |
| 4 生産者がわかる  |          |

選択肢	回答数	回答分布
1	70	68.6%
2	2	2.0%
3	3	2.9%
4	4	3.9%
5	5	4.9%
6	2	2.0%
7	4	3.9%
無回答	12	11.8%
合計	102	100.0%



市内産農産物の購入理由は、「新鮮である」が約7割(68.6%)という結果となりました。

その他記入欄意見 抜粋

○地産地消で環境負荷が少ないと思われるため。

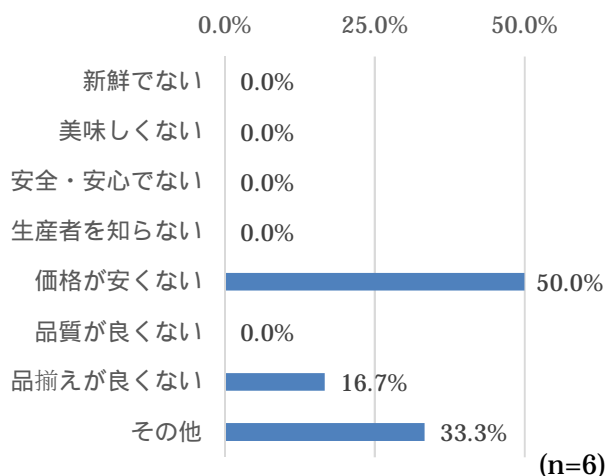
《【問11】で、「3 どちらかといえば購入したいとは思わない」「4 購入したいとは思わない」とお答えの方へ》

【問11-2】 あなたが、市内産農産物を購入したくないと思う理由は何ですか。

(回答は1つ)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 新鮮でない    | 5 価格が安くない  |
| 2 美味しくない   | 6 品質が良くない  |
| 3 安全・安心でない | 7 品揃えが良くない |
| 4 生産者を知らない | 8 その他 ( )  |

選択肢	回答数	回答分布
1	0	0.0%
2	0	0.0%
3	0	0.0%
4	0	0.0%
5	3	50.0%
6	0	0.0%
7	1	16.7%
8	2	33.3%
合計	6	100.0%



市内産農産物を購入したくない理由について、「価格が安くない」が50.0%という結果となりました。

その他記入欄意見 抜粋

○どちらでもよい。

○工場が沢山あるので汚染が気になる。

【問12】 あなたは、市内産農産物がいつ、どこで販売されていれば購入したいと思いますか。  
 (回答はいくつでも)

	平日				休日			
	午前中	午後	夕方	夜間	午前中	午後	夕方	夜間
回答例		2	3		5			8
(1) 最寄り駅周辺	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 最寄り駅と自宅との間	1	2	3	4	5	6	7	8
(3) 自宅周辺	1	2	3	4	5	6	7	8
(4) 車で片道30分以内に行ける所	1	2	3	4	5	6	7	8
(5) 車で片道30分超でも行ける所	1	2	3	4	5	6	7	8
(6) 宅配(配達時間でお答えください)	1	2	3	4	5	6	7	8
(7) その他	1	2	3	4	5	6	7	8

午後は正午以降、夕方は午後4時以降、夜間は午後7時以降としてお答えください。

		平日				休日			
		午前中	午後	夕方	夜間	午前中	午後	夕方	夜間
回答数	最寄り駅周辺	26	21	25	12	34	25	18	4
	最寄り駅と自宅との間	26	21	22	8	30	25	20	4
	自宅周辺	55	42	38	13	59	46	32	9
	車で片道30分以内に行ける所	21	17	14	6	23	26	14	4
	車で片道30分超でも行ける所	12	12	6	4	14	16	7	2
	宅配	8	5	14	19	8	7	15	15
	その他	5	4	4	6	4	4	6	5
回答分布(%)	最寄り駅周辺	23.2	18.8	22.3	10.7	30.4	22.3	16.1	3.6
	最寄り駅と自宅との間	23.2	18.8	19.6	7.1	26.8	22.3	17.9	3.6
	自宅周辺	49.1	37.5	33.9	11.6	52.7	41.1	28.6	8.0
	車で片道30分以内に行ける所	18.8	15.2	12.5	5.4	20.5	23.2	12.5	3.6
	車で片道30分超でも行ける所	10.7	10.7	5.4	3.6	12.5	14.3	6.3	1.8
	宅配	7.1	4.5	12.5	17.0	7.1	6.3	13.4	13.4
	その他	4.5	3.6	3.6	5.4	3.6	3.6	5.4	4.5

(n=112)

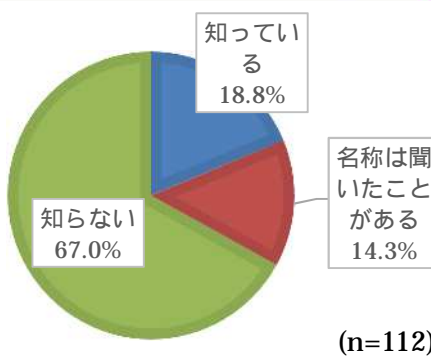
市内産農産物がいつ、どこで販売されていれば購入したいかの上位3項目は、「自宅周辺 休日 午前中」が52.7%で最も多く、次いで「自宅周辺 平日 午前中」が49.1%、「自宅周辺 休日 午後」が41.1%でした。「宅配」では、「夕方」から「夜間」が多い結果となりました。

【問13】 市では、さがみはら農産物ブランド協議会と連携し、市内産農産物を「さがみはらのめぐみ」と総称し、地産地消を推進しています。あなたは、「さがみはらのめぐみ」という名称をご存知ですか。（回答は1つ）

- |               |
|---------------|
| 1 知っている       |
| 2 名称は聞いたことがある |
| 3 知らない        |



選択肢	回答数	回答分布
1	21	18.8%
2	16	14.3%
3	75	67.0%
合計	112	100.0%



「さがみはらのめぐみ」の名称について、「知っている」が18.8%、「名称は聞いたことがある」が14.3%、「知らない」が67.0%という結果となりました。

【有機農産物、減農薬等農産物の購入状況について】

【問14】 あなたは日頃、有機農産物や減農薬等農産物を購入していますか。

（回答は、それぞれ1つずつ）

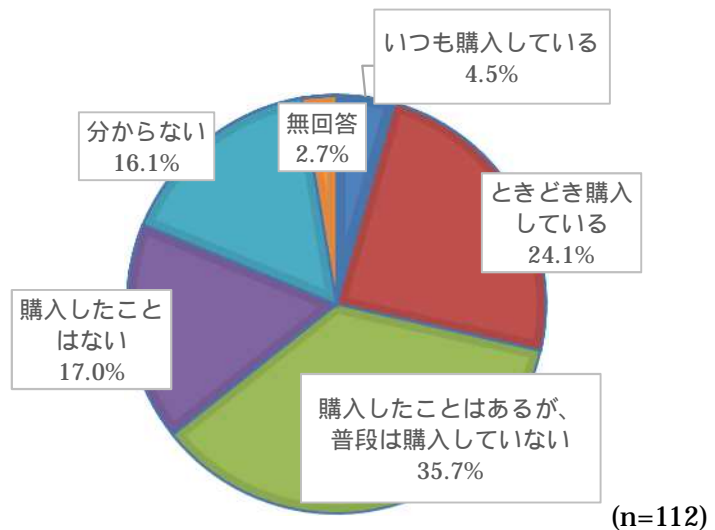
**有機農産物：**化学合成農薬や化学肥料を使用しない、又は使用が認められたもののみ使用するなど、有機JAS規格に従って生産され認証を取得しているものを、ここでは有機農産物とします。

**減農薬等農産物：**有機JASの認証を取得していないもので、通常の栽培方法よりも化学合成農薬や化学肥料を減らして又は使用せずに栽培された農産物を、ここでは減農薬等農産物とします。

	いつも購入している	ときどき購入している	が、購入したことはある	購入したことはない	わからない
回答例	1	2		4	5
(1) 有機農産物	1	2	3	4	5
(2) 減農薬等農産物	1	2	3	4	5

### 有機農産物

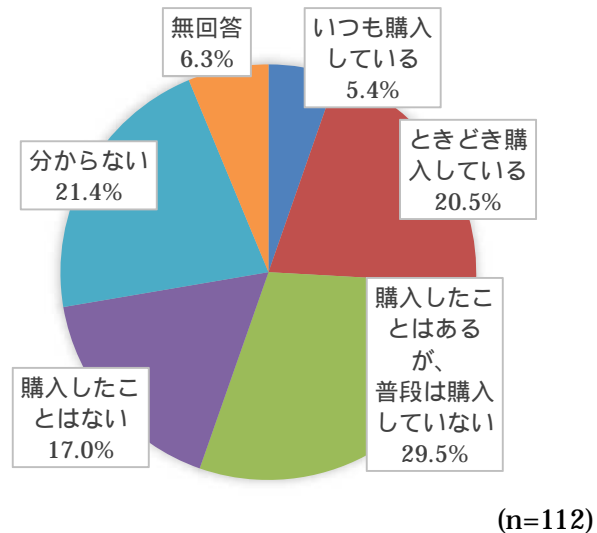
選択肢	回答数	回答分布
1	5	4.5%
2	27	24.1%
3	40	35.7%
4	19	17.0%
5	18	16.1%
無回答	3	2.7%
合計	112	100.0%



有機農産物の購入について、「いつも購入している」(4.5%)と、「時々購入している」(24.1%)を合わせた普段から「購入している」人は、28.6%という結果となりました。

### 減農薬等農産物

選択肢	回答数	回答分布
1	6	5.4%
2	23	20.5%
3	33	29.5%
4	19	17.0%
5	24	21.4%
無回答	7	6.3%
合計	112	100.0%



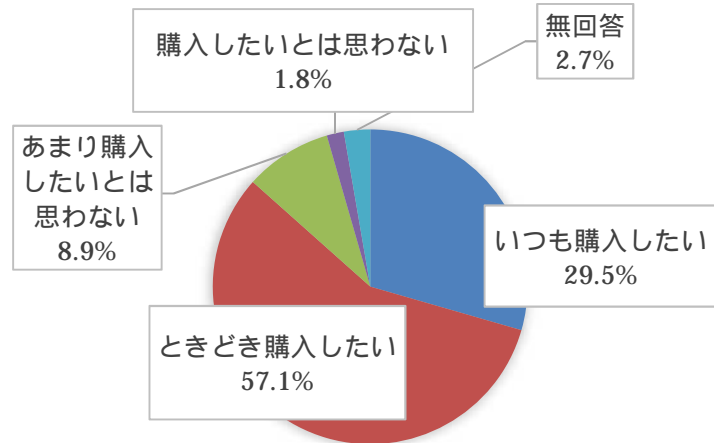
減農薬等農産物の購入について、「いつも購入している」(5.4%)と、「時々購入している」(20.5%)を合わせた普段から「購入している」人は、25.9%という結果となりました。

【問15】 あなたは、有機農産物や減農薬等農産物を購入したいと思いますか。  
 (回答は、それぞれ1つずつ)

	いつも購入したい	ときどき購入したい	あまり購入したいとは思わない	購入したいとは思わない
	(問16へ)		(問15-1へ)	
回答例	1	2		4
(1) 有機農産物	1	2	3	4
(2) 減農薬等農産物	1	2	3	4

有機農産物

選択肢	回答数	回答分布
1	33	29.5%
2	64	57.1%
3	10	8.9%
4	2	1.8%
無回答	3	2.7%
合計	112	100.0%

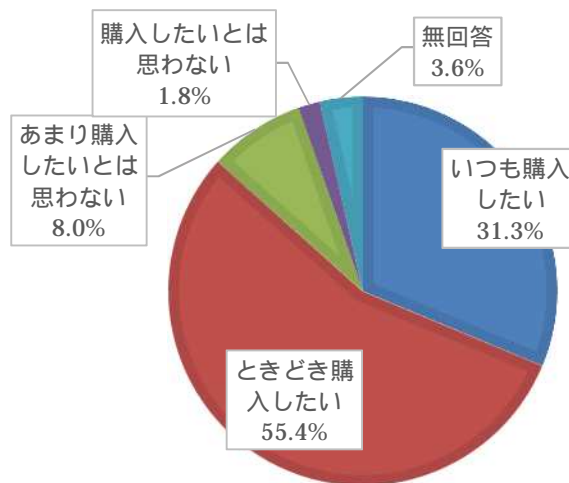


(n=112)

有機農産物の購入意向は、「いつも購入したい」(29.5%)と「ときどき購入したい」(57.1%)とを合わせた9割弱(86.6%)という結果となりました。

減農薬等農産物

選択肢	回答数	回答分布
1	35	31.3%
2	62	55.4%
3	9	8.0%
4	2	1.8%
無回答	4	3.6%
合計	112	100.0%



(n=112)

減農薬等農産物の購入意向は、「いつも購入したい」(31.3%)と「ときどき購入したい」(55.4%)とを合わせた9割弱(86.7%)という結果となりました。

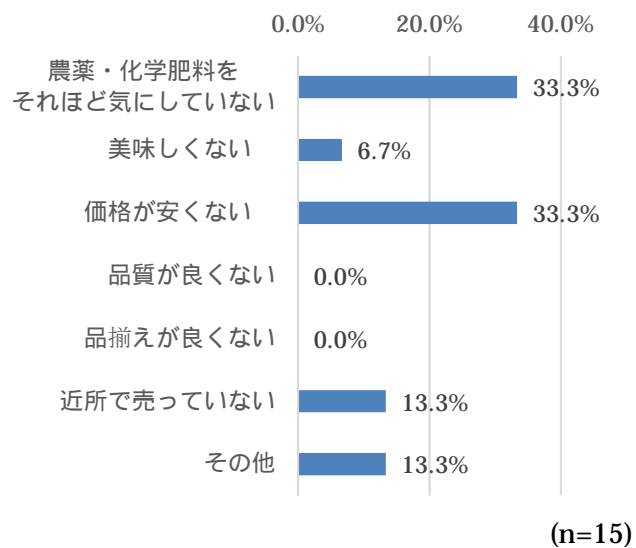


《【問15】で、「3 あまり購入したいとは思わない」「4 購入したいとは思わない」とお答えの方へ》

【問15 - 1】 あなたが、有機農産物や減農薬等農産物を購入したくないと思う理由は何ですか。（回答は1つ）

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 農薬・化学肥料をそれほど気にしていない |
| 2 | 美味しくない              |
| 3 | 価格が安くない             |
| 4 | 品質が良くない             |
| 5 | 品揃えが良くない            |
| 6 | 近所で売っていない           |
| 7 | その他（                |

選択肢	回答数	回答分布
1	5	33.3%
2	1	6.7%
3	5	33.3%
4	0	0.0%
5	0	0.0%
6	2	13.3%
7	2	13.3%
合計	15	100.0%



有機農産物や減農薬等農産物を購入したくない理由について、「農薬・化学肥料をそれほど気にしていない」と「価格が安くない」が33.3%という結果となりました。

**その他記入欄意見 抜粋**

- 減農薬等農産物にしたいが、区別がつきにくく気にしないで購入している。
- よく分からないから。中国産のもので有機農産物を書いてあり信用できない。

【問16】 あなたは、有機農産物や減農薬等農産物がいつ、どこで販売されていれば購入したいと思いますか。(回答はいくつでも)

	平日				休日			
	午前中	午後	夕方	夜間	午前中	午後	夕方	夜間
回答例	1	2				6		8
(1) 最寄り駅周辺	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 最寄り駅と自宅との間	1	2	3	4	5	6	7	8
(3) 自宅周辺	1	2	3	4	5	6	7	8
(4) 車で片道30分以内に行ける所	1	2	3	4	5	6	7	8
(5) 車で片道30分超でも行ける所	1	2	3	4	5	6	7	8
(6) 宅配(配達時間でお答えください)	1	2	3	4	5	6	7	8
(7) その他	1	2	3	4	5	6	7	8

午後は正午以降、夕方は午後4時以降、夜間は午後7時以降としてお答えください。

		平日				休日			
		午前中	午後	夕方	夜間	午前中	午後	夕方	夜間
回答数	最寄り駅周辺	27	20	23	13	31	23	18	5
	最寄り駅と自宅との間	24	24	25	10	30	28	20	3
	自宅周辺	49	36	35	14	53	39	27	7
	車で片道30分以内に行ける所	22	17	14	5	23	23	11	3
	車で片道30分超でも行ける所	11	10	9	5	16	15	8	3
	宅配	9	6	12	17	9	9	14	12
	その他	4	4	6	7	5	4	6	4
回答分布(%)	最寄り駅周辺	24.1	17.9	20.5	11.6	27.7	20.5	16.1	4.5
	最寄り駅と自宅との間	21.4	21.4	22.3	8.9	26.8	25.0	17.9	2.7
	自宅周辺	43.8	32.1	31.3	12.5	47.3	34.8	24.1	6.3
	車で片道30分以内に行ける所	19.6	15.2	12.5	4.5	20.5	20.5	9.8	2.7
	車で片道30分超でも行ける所	9.8	8.9	8.0	4.5	14.3	13.4	7.1	2.7
	宅配	8.0	5.4	10.7	15.2	8.0	8.0	12.5	10.7
	その他	3.6	3.6	5.4	6.3	4.5	3.6	5.4	3.6

(n=112)

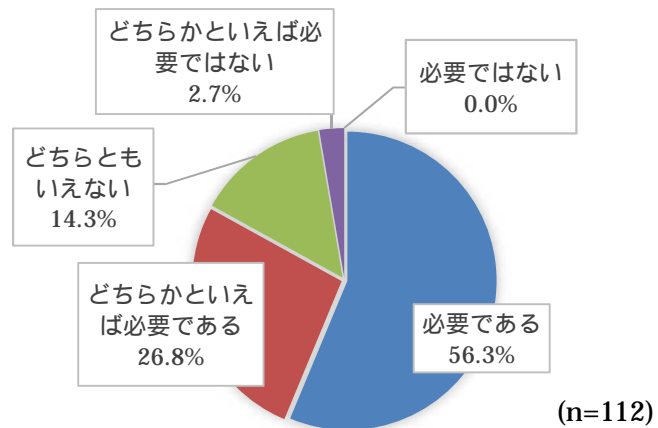
有機農産物や減農薬等農産物がいつ、どこで販売されていれば購入したいかの上位3項目は、「自宅周辺 休日 午前中」が47.3%で最も多く、次いで「自宅周辺 平日 午前中」が43.8%、「自宅周辺 休日 午後」が34.8%という結果となりました。

【農地の役割等について】

【問17】 あなたは、市内の都市部にある農地について、農地として残していくことが必要だと考えますか。(回答は1つ)

- 1 必要である
- 2 どちらかといえば必要である
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば必要ではない
- 5 必要ではない

選択肢	回答数	回答分布
1	63	56.3%
2	30	26.8%
3	16	14.3%
4	3	2.7%
5	0	0.0%
合計	112	100.0%

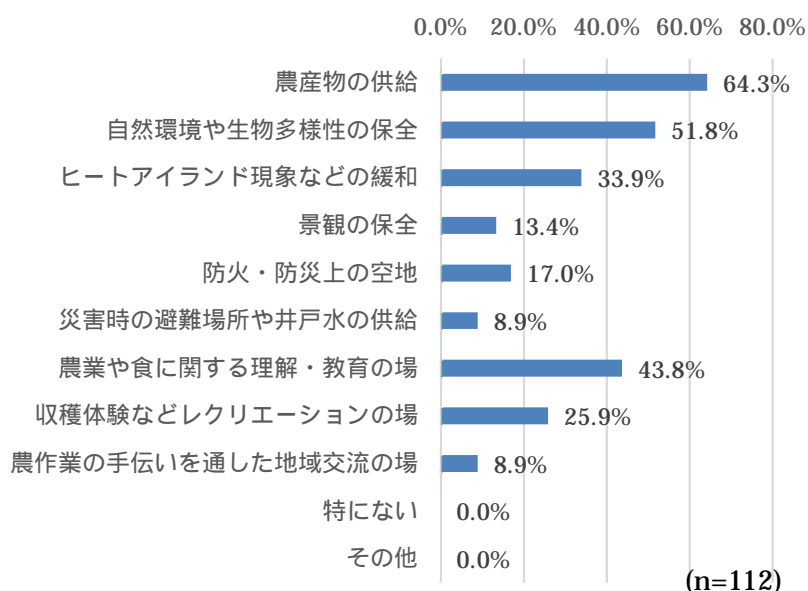


都市部にある農地を残すことについて、「必要である」(56.3%)と「どちらかといえば必要である」(26.8%)とを合わせた「必要」と考えている人が8割強(83.1%)という結果となりました。

【問18】 あなたが、市内の都市部にある農地の役割として、重要であると思うことはどのようなことですか。(回答は3つまで)

- 1 農産物の供給
- 2 自然環境や生物多様性の保全
- 3 ヒートアイランド現象などの緩和
- 4 景観の保全
- 5 防火・防災上の空地
- 6 災害時の避難場所や井戸水の供給
- 7 農業や食に関する理解・教育の場
- 8 収穫体験などレクリエーションの場
- 9 農作業の手伝いを通じた地域交流の場
- 10 特にない
- 11 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	72	64.3%
2	58	51.8%
3	38	33.9%
4	15	13.4%
5	19	17.0%
6	10	8.9%
7	49	43.8%
8	29	25.9%
9	10	8.9%
10	0	0.0%
11	0	0.0%

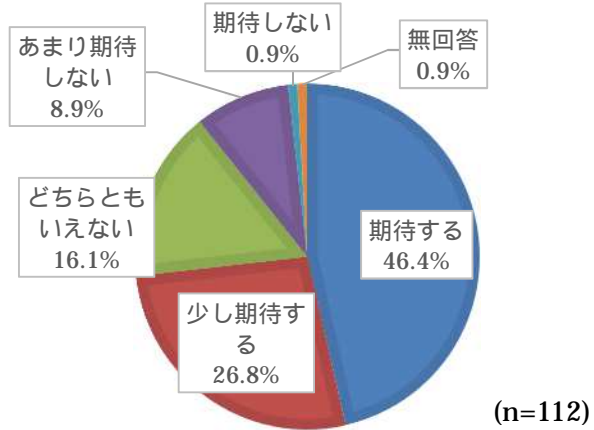


都市部にある農地の重要な役割の上位3項目は、「農産物の供給」が64.3%最も多く、次いで「自然環境や生物多様性の保全」が51.8%、「農業や食に関する理解・教育の場」が43.8%という結果となりました。

【問19】 あなたは災害時に、都市部にある農地が、一時的な避難所、食事提供場所として提供されることを期待しますか。(回答は1つ)

- 1 期待する
- 2 少し期待する
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり期待しない
- 5 期待しない

選択肢	回答数	回答分布
1	52	46.4%
2	30	26.8%
3	18	16.1%
4	10	8.9%
5	1	0.9%
無回答	1	0.9%
合計	112	100.0%

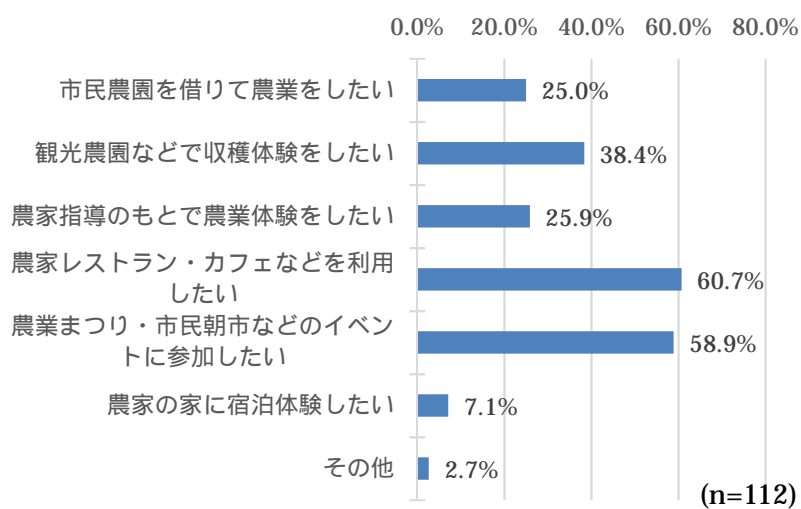


災害時に、都市部にある農地が一時的な避難所、食事提供場所として提供されることについて、「期待する」(46.4%)と「少し期待する」(26.8%)とを合わせた「期待する」が7割強(73.2%)という結果となりました。

【問20】 あなたは、「農」にまつわる体験について、どのような体験をしたいと考えますか。  
 (回答は3つまで)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 市民農園を借りて農業をしたい          |
| 2 | 観光農園などで収穫体験をしたい         |
| 3 | 農家指導のもとで農業体験をしたい        |
| 4 | 農家レストラン・カフェなどを利用したい     |
| 5 | 農業まつり・市民朝市などのイベントに参加したい |
| 6 | 農家の家に宿泊体験したい            |
| 7 | その他( )                  |

選択肢	回答数	回答分布
1	28	25.0%
2	43	38.4%
3	29	25.9%
4	68	60.7%
5	66	58.9%
6	8	7.1%
7	3	2.7%

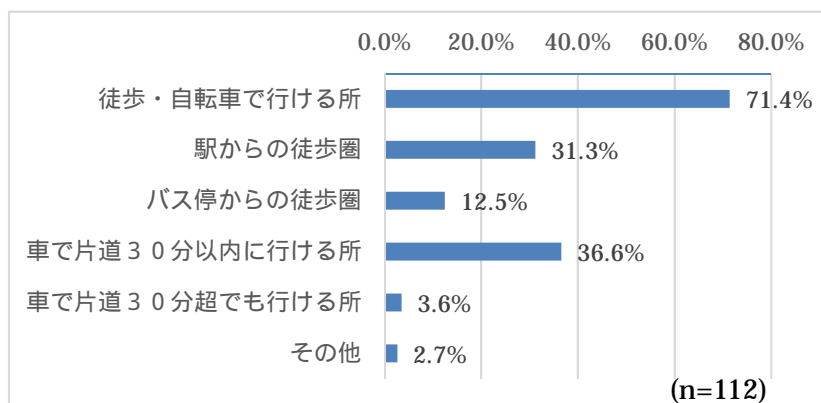


体験したい「農」について、「農家レストラン・カフェなどを利用したい」が60.7%で最も多く、次いで「農業まつり・市民朝市などのイベントに参加したい」が58.9%という結果となりました。

【問 2 1】 あなたは、どのような場所で「農」にまつわる体験をしたいと思いますか。  
 (回答は2つまで)

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 | 徒歩・自転車で行ける所    |
| 2 | 駅からの徒歩圏        |
| 3 | バス停からの徒歩圏      |
| 4 | 車で片道30分以内に行ける所 |
| 5 | 車で片道30分超でも行ける所 |
| 6 | その他( )         |

選択肢	回答数	回答分布
1	80	71.4%
2	35	31.3%
3	14	12.5%
4	41	36.6%
5	4	3.6%
6	3	2.7%



「農」にまつわる体験の場所について、「徒歩・自転車で行ける所」が71.4%と最も多いという結果となりました。

**その他記入欄意見 抜粋**

- 徒歩10分、近いが一番。
- 現在は体験したくない。

【問 2 2】 その他、農業施策や地産地消の推進についてご意見、ご要望などございましたらご記入ください。

<地産地消について>

既に、いくつかのスーパーでは地元の野菜コーナーを設けていますが、本当に地産地消推進するのであれば、曲がったきゅうりや自然のまま育った野菜も売ってほしいです。消費者も形を気にする人もいますが、さほどでもなく、新鮮で価格が適正であればよし！ - という人も沢山いると思います。規格は人が勝手に作ったもの - 野菜に対して失礼です。是非とも規格外、とはじかれた野菜も堂々と売ってください。野菜育てている人にとっても買う人にとっても嬉しいことです。

地産地消に協力したいと思いつつも、スーパーの特売には負けてしまいます。数十年前は近所の農家直売の野菜は格安で新鮮だった思い出があります。

スーパーでも、地産のものが販売されているので、身近で見えて手に取って食べることができるので良いと思います。ですから、大型スーパー等でも1コーナーを作り、販売していれば、も

<p>っと身近で、多量の物が流通できると思います。場所は、駅近だと大勢の人が来るので良いと思います。</p>
<p>ここ大沢地区、私の周辺では農家さんの直売が多々あり、安価で購入でき助かってます。小学校、保育園などの給食に積極的にとりいれたら、地産地消になると思います。</p>
<p>身近に農業を感じられるのは、農業への理解を深める為に必要だと思う。地産地消して、住んでいる地域の作物を食すれば、住んでいる地域への愛着心も高まる気がする。</p>
<p>相模原産の農作物は、安心して美味しく新鮮である事をさまざまな所でくり返し、くり返しの地道な活動をする事でアピールする事が良いと感じる。あきない、あきらめない、あせらないで生産者の協調の元で進めれば良いと感じます。「すきです、さがみはらうるおいの農産物」</p>
<p>車で30分ほどで行ける津久井の直売所を時々利用しているが、旬のものは地元の地産地消が良いと思う。また大手スーパーなどにもっと地元産を強調するマーケティングを推進して欲しい。例えば信州など観光地ではスーパーに朝どれ野菜コーナーなどがあるがそのような取り組みを相模原も推進すべき。ラーメン屋さんなどで地元産にこだわっている店もあるがそのような取り組みをブランドマークなどでもっと推進すべき。</p>
<p>地産地消のイベント、アピールをもっと多く実施してほしい、桜まつりの規模でもよいのでは施策や地産地消のPRが必要である。関係団体と一緒に催物を行い、年1回だけでなく数回実施する。</p>
<p>地産地消は、とても重要であると思います。</p>
<p>家の近くにスーパーがあります。便利であり、わざわざJAに買い物に行く必要性が少ないです。でも地場産を繁栄させる為には、道の駅を週一でも開催されればと思います。</p>
<p>農産物は地産地消が原点だと思います。相武台には「問9-1」の4~11いずれも無い？残念です。座間市役所前の朝市にはウォーキング帰りに寄っています。相武台公民館等が拠点になることを期待します。</p>
<p>地産地消を応援したい者としては、市役所の食堂などで、地元のやさいを使ったものを提供していただきたい。市内で、農家レストラン、カフェ、また、農家の方が行っている宅配、ネット販売があるのならば、広報「さがみはら」等で紹介してほしい。</p>
<p>地産地消をもっと広めてほしいです。地元の野菜は新鮮で美味しいです。野菜の味がします。もっと手軽に購入できる方法があれば利用したいと思っています。また、地元の野菜を使った料理教室などがあれば参加したいと思っています。少し前は車で行くことも苦痛には感じなかったのですが、最近は、その場所に行くまでの渋滞等を考えるとついつい徒歩圏内だと考えてしまいます。</p>

#### <市民農園について>

<p>市民農園を借用して、地面積の多い所、安価な金額にて出来る様をお願いしたいと思います。</p>
<p>今年市民農園借りて栽培しています。ネットかけなど防虫対策が大変ですが、出来るだけの農薬減らした野菜の販売者を表示した農家のものを購入したいと思います。市民農園をもっと増やして下さい。</p>



市民農園等には駐車場、トイレ、水道水を完備して欲しい。

市民農園を借り野菜を作っている。私は有機農業・無農薬を目差しているが、周囲の人が農薬や化学肥料を多く使っているし、マルチのビニールを多く使用している。配合肥料や有機化学肥料とマルチの使用等、PRして欲しい。

市民農園の拡充希望と抽選方法が不透明であり抽選に工夫が必要です。農地の住宅化が進み市民農園の減少が見られますが、新規開拓も必要と考えます。また、同一人が連続使用することは回数制限が必要と考えます。途中で未使用となっている、一人で数か所使用している畑があることの実事。

#### <イベントについて>

農業イベントや朝市などの開催を知る機会がないです。

農業まつりのようなイベントを、淵野辺公園以外の他の会場でも実施してもらえると、多くの市民が参加できると思います。（相模原相模大野中央公園など）

#### <朝市について>

朝市などに出品されている品物はふぞろい品でありますがそれでもスーパーと同じ金額で売っているのはおかしい。もっと安く売ってほしい。消費者にとってメリットがないのならスーパーで間に合う。

市民朝市の開催時回数や開催場所の増加など検討する必要がある。

#### <直売所について>

犬の散歩のついでに野菜が買えるように、夕方以降もやっている無人販売所みたいところを増やしてほしい。

毎週通っている農産物直売所で並んでいると、納品にいらした農家のお母さんと息子さんが、いつも私達に会釈して帰られます。こちらこそおいしい新鮮な野菜ありがとう。作り手、買い手、顔のみえる地産地消ならではの風景です。

農産物販売所が徒歩、自転車で行ける範囲にない（交通手段が必要）

価格が割高 以上の点を考慮して欲しい。 午後に行った時品数が少ない様に思えました。

我が家の近くで毎週2回農家の方が、100円で提供して下さる販売所があります。多勢の方々でにぎわい、うばい合いで、毎回買っていますが、これ程にぎわうのは、やはり、いい野菜を安く誠実に販売して下さる農家の方の意識の高さだと思います。

スーパーの中に地元野菜のコーナーがあっても同じ品物なら値段の安い方を購入します。逆にホームセンターなど野菜などを売っていない所に、地元野菜が並んでいたら、手に取ったり、購入したりします。〇〇〇には、野菜コーナーがあるのでよくのぞきます。は売場も広く、スーパーでは高かった野菜も手頃で買えたので、とても助かりました。

直売所でときどきかいますが、とってもおいしいですよ！！

「べじたべーな」にも行ってみます。

<p>大型スーパー、小さい商店どの店でも少しでも地元の農産物を置くようにしてあれば、買うと思います。わざわざ”ここ”に行かないと買えないとなるとあまり行きません。</p>
<p>なるべく地元でとれた野菜を購入したいと思うが、近くの直売所がなくなってしまったので残念です。スーパーで、農家さんのコーナーがあったりするので、そこをよく利用しています。</p>
<p>問9-1の4さがみはらアンテナショップさがみつくすは初めて知り、行ってみたいです。JA支店の野菜、販売日と時間がわかれば、買いに行きたいのですが、情報を広報などで掲示して欲しい。JA大型直売所めぐりんずつくいは近くを何度も通った事はあるが、一度も入った事がないので、今度は行ってみようと思います。今まであまり気にしていなかったの市内農産物コーナーですが、明日、早速、野菜を買いに行こうと思います。子供が小さい時は味覚狩り、さつまいも掘り、相模原市でのキウイ狩りなど全て体験して、楽しい思い出がいっぱいです。今度は友達と行ってみたいので、観光農園の情報なども教えて欲しいです。</p>
<p>地産地消に興味はあったのですが、交通手段が徒歩だったため、駅前のスーパーでしか購入することができませんでした。電車を使ってまではちょっと大変でしたので…。最近車を買ったので、JAなどに行ってみたいと思っています。</p>
<p>現在でも「べじたべーな」、「めぐりんずつくい」他、市外のJA直売所を利用しているが、自宅から徒歩圏内にて利用できるよう販売所を増やして欲しい。市民農園は自宅徒歩圏内にはなく、また提供数も少なく、気軽に利用できない。改善をお願いします。</p>
<p>自宅近くには販売所がないようで、近くの大型店舗で購入しています。家族の日々の買い物では難しい？</p>
<p>相模原駅周辺でも、相模原産の野菜販売所を増やしてほしい。</p>
<p>市内で生産されたものを購入したいと思うのですが、なかなか普段それだけを購入して暮らして行くのは難しいのが現状です。近くのcoopにある〇〇〇〇の野菜や、へ行くときは積極的に購入しています。もっとたくさんの場所で販売されたり、カフェなどの店頭で販売されていると購入しやすいと思います。</p>

### <「農」の体験について>

<p>日帰りバスツアーなどで収穫体験をした後、農家レストランなどで食事をしたらいいと思う。</p>
<p>&lt;田植えと稲刈りに参加しました。&gt; 収穫体験し、それを使って調理し、食す。親子で参加し、大変さ、ありがたさ等実感したことがあります。子供にだけでなく、私たち親もとても良い経験となりました。自宅では教えることのできない「農」。こういった場の増加を望みます。</p>
<p>農家から畑を借りて近くの小学校で野菜を育てて、収穫祭やっています。地元の人達に安く売ってくれます。小学生の時、このような経験を積んでおく事は良い事だと思う。どこの小学校もやっているのかはわかりませんが、野菜の成育を楽しみながら、クラスメートとの協力の必要性も体験しますので、農家で畑を使用しなくなった(老化)とかの場合は、ぜひ、子供達にクラブ活動のひとつとしてでもいいから、やらせてほしい。</p>

今年初めて家族で田植え、収穫体験に参加しました。子どもたちはカエルをさわったり田植えをしたり農家の方と交流しながら楽しんでいました。このような体験を身近なところで、もっと低費用でできる機会が増えるとありがたいです。

現在、個人的に大月市の桂川ウェルネスパークで行われているたくあん学校に参加しています。播種から間引き、収穫、干し、漬込みまでの一連の作業を通じて、「農」体験を親子で楽しんでいます。都市部での催し等のようなことが行われているのか詳しくありませんが、1回限り（収穫のみとか）ではなく、作物の生長に合わせたイベントなどがあったら奥深い体験ができるのかなと思います。また、相模川の河原で”地産地消”をテーマに芋煮会をやってほしいです。

子供が幼稚園のころは、サツマイモ堀りや農家の方からお話を聞いたり、園で野菜を育てたりと地元の農業と身近であったが、小学生になり一気に遠くなった気がする。収穫体験や農業体験などもっと盛んに行ってほしい。（藤野方面には、料金を払ってにこみうどん、野菜収穫体験ができるようですが...）

#### <有機栽培・減農薬等農産物について>

無(減)農薬や有機の農産物はどうしても高価。収入が少ないと買うのをためらう。近くの農地では、1年中作物を育てていない。風が強いと砂ぼこりがひどい。都市部の農業や農地はとても大切だと思う。季節ごとの野菜を育てるなど、近隣との融合が大切だと思う。

自宅近くに農地があればよいと思うが、農薬（ネオニコ系農薬や有機リン系農薬）を撒かれるのは困る。地産地消の農産物はほしいが、あくまでも有機栽培や減農薬で栽培したものがよい。見栄えが悪くても、多少虫食いであっても構わないので、安全・安心な農産物をリーズナブルな価格で購入したい。

地産地消で無農薬の野菜を提供してほしいです。

#### <その他>

日頃、農業について真剣に考えることはほとんど無いことに気付かされた。しかし、自宅近辺等散歩や自転車で走っている時に田畑があると、ホッとする気持ちになる自分が居ることに不思議な感覚を感じる。これを機会に農業施策について少し勉強してみたいと思った。

相模原市だけにかぎらず、全国で農業をする人が減少。畑の管理も行き届かず、生産者も高齢化が進み、農業そのものが出来なくなりつつある。外国人を雇い人づくりしても、自国へ戻れたら、技術も盗まれ、エレクトロニクス、家電産業と同じ道をたどり日本の農業も大変なことになる。外国から野菜を輸入し、食事も安心、安全があぶない！ 国・市がもっと農家に力を入れ、本気にならないと中国に飲まれてしまう。土地の買い漁り（北海道の水源地を中国人に買い漁られていること）、外国人に対する不動産（土地）に対する売買にも監視の目を向けないとこわいことになりかねないと思います。

相模原の農産物・特産物がなんなのかわからない。相模原は農地が多いと思われるが、都市部に近いので、農地の別の有効利用が今後の相模原に有益ではないのか。農業・農家・JAの現

<p>代農業への取組み・業務改善・意識改革が有効に行われているのが不透明。営農に力を入れても基本的な所の改善が必要ではないか。</p>
<p>市内の農業施策や地産地消の推進は望むところですが、裏をかえせば農業従事者継続（継続がないなど）がされていくのが懸念されている。その対応策として既に法人された農業従事者等が引継いでいくという方向で農協、市が一体となって継続推進してはと思います。</p>
<p>1.地産地消 - 市内の学校給食の食材の利用量を計画的に増加していくことにより市内の農業を推進する。（農業推進により、農業従事者の人数をふやす。そして、その方々の働き甲斐を向上、生き甲斐を向上につなげられればよいと思います。） 2.県の農業推進方針と大きな連携を推進する。 3.上記の1.と2.を進めることにより、若者の働く機会を拡大そして市内の人口増加に結びつけたい。 4.問 18-9 農作業の手伝い...定期的に（回数は少なくとも）開催して下さい。</p>
<p>有機農産物などの明記が消費者からすると、認識しづらい点があると思ったので、明記についてスーパーなどで分かりやすく解説した方が良いと思う。</p>
<p>農家の畑を貸していることはいいことである。色々な年代と交流でき、土にふれあうのはいいことです。</p>
<p>これだけ都市化が進む現在にて、自然のひとつとして後世に残したい農園(farm land)は大事な物です。その運営というか、在り方は様々有ると思うが、大事な事は、自然を大事にして残す事である。出来れば、汗を流して農業体験をしたいと思う。</p>
<p>野菜が好きなので農業施策の活躍を期待しています。</p>
<p>野菜は特に大切だと思っています。朝市も多くあるとよい。さがみはらのめぐみを応援します。</p>
<p>1.JA 大型直売所の名称が覚えにくい 2.「道の駅」構想はありますか？ あつたらいい。 3.市の広報で農業の現状と未来を紹介 4.野菜工場の誘致</p>
<p>そもそも知らないことばかりだった。イベントなど行ってみたいとは思いますが、これらのこと全て能動的に動かないと情報を得られない状態では、地産地消の推進にあまり結びつかないと思う。周知が一番難しいとは思いますが。</p>
<p>農業は人間の食の部分で大切な役割を持っていると思います。地元で取れる野菜は安心して、消費できます。</p>
<p>農業は必要だと思うが、接点がないと、なかなか考えられない。自分がまだ学生だからかもしれないが...</p>
<p>今月迄家庭菜園で 15 坪を借りていたが、加齢からくる体力の減少は避けられず、断念したが、農産物に対する愛着は決して衰えてはいない。だんだん農地の減少を見ると、淋しくなる。自分が直接携わっていなくても、常に大きな関心を持っている。相続の関係か、近くの畑も家が建っているのは淋しい。</p>
<p>地方出身なので農地の黒々とした土をみるとほっとします。手間がかかっているのは価格が高いと分かってはいるのですが、やっぱり安いものを買います。中国産は避けるようにしています。境川縁の無人販売の人が、泥棒の被害にあっていると嘆いていました。100 円で新鮮な安いものが買えると喜んでいましたが、そういう人もいるんだとがっかりしました。もちつもたれつでいけたらいいのに、と思います。</p>

急速に進む少子化や過疎化で農業自体が今、衰退の危機に瀕しています。その反面、テレビ等のメディアではリタイアされた方を中心に田舎生活が喧伝されています。生きとし生けるものは土から生まれ、土に還ってゆく。資源のない日本は農業を中心に、地産地消を進めてゆかないと立ち行かなくなると思います。大切な農地を都市化から守り、リタイア組を中心に地産地消を推進し、次に続く世代へ、大地のめぐみをバトンタッチしてゆくことが本当に大事です。ネットで得られる情報より、小さい時から、大地と親しみ、作物を育てることの大変さ、慈しみを教えてあげることで、作物の大量廃棄も少なくなります。

相模原の野菜が増えてくれたらうれしい。農家さんへの支援をきいたことがないので、宣伝して行ってほしい。

このアンケートに回答しながら、自分自身の農家への関心のなさを感じました。意識を変えることが必要だと感じました。

農業に従事する人の高齢化が進んでいて、耕作放棄に近い状況も多いと聞いています。既に、市政としても農業法人化の支援をしているようですが、魅力ある事業を前提に、コストパフォーマンスを考慮しないと進まない様にも感じます。一方、市役所の食堂など市の公共施設では、地産地消が進んでいるのでしょうか？先ずは、率先して進めて戴きたいと思います。

相模原は緑区など、有効活用出来る、土地が多いので、地産地消の活動を更に強化して良いと思います。

安全・安心の地産野菜をもっと身近に購入出来るようになると良い。

遺伝子組み換えの情報を明記してほしい。

昔食べたような野菜が最近ない。味が濃くて、美味しい野菜を食べたいと思います。

農業は公共事業ではないのでどれだけ施策として効果があるのかわからない。公共性がある認識を向上させる施策が大事だと思う。家が近いので相模原市役所（中央区役所）のエントランス前で朝市があると嬉しいし、公共性を感じる。

このアンケートの内容に関するお問い合わせは、こちらへお願いいたします。

相模原市 農政課 農政班

電話 042 - 769 - 9233（直通）

〒252 - 5277 相模原市中央区中央2 - 11 - 15 市役所本館5階